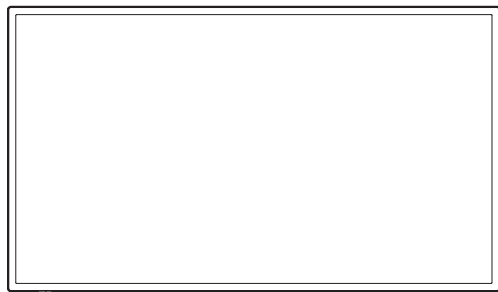


取扱説明書

タッチスクリーン液晶ディスプレイ 業務用

品番 **TH-75BFE1J** (75V 型)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

4K

PROFESSIONAL

*実解像度: 3840 x 2160 画素

HDMI

DOLBY AUDIO™

保証書別添付

DPQX1220ZC

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意..... 3

使用上のお願い..... 8

第 1 章 はじめに 10

付属品の確認 10

リモコンの電池の入れかた 10

別売オプション..... 11

各部の名称と働き 12

ボタンとインジケータ 12

ケーブルと端子..... 14

リモコン 15

リモコンの使い方 16

リモコンセンサーの設定 16

リモコンの動作範囲 16

リモコンを操作する 16

第 2 章 設置 17

電源コードの接続と固定 17

アナログビデオソースと接続する 18

アナログ接続 18

デジタルビデオソースと接続する 18

デジタル接続 18

タッチパネルを使用する 19

ディスプレイの設定 19

ホワイトボードソフトウェアを使う 19

スピーカーの取り付け手順 20

横置きの場合 20

縦置きの場合 20

第 3 章 操作 22

すべての接続機器の電源をオンにする 22

電源管理機能 24

OSD の言語を選択する 25

入力ソースを選択する 26

リモコンの [INPUT] ボタンで選択する 26

本体の [INPUT] ボタンで選択する 26

USB メモリーのコンテンツを再生する 27

対応デバイスについて 28

プレイリストを設定する 29

音楽をバックグラウンド再生する 31

スライドショー設定 31

プレイリストを再生する 32

シリアル端子による制御 34

OSD 画面の構成と基本操作 35

OSD 画面の基本操作 36

映像のメニュー画面 38

アスペクトのメニュー設定 39

音声のメニュー画面 40

設定のメニュー画面 41

初期設定のメニュー画面 42

スケジュールの設定方法 43

システム情報のメニュー画面 44

付録 45

表 1: 対応フォーマット仕様 (映像) 45

表 2: 対応フォーマット仕様 (音声) 45

表 3: 対応フォーマット仕様 (写真) 45

表 4: プリセット信号 46

修理を依頼される前に 47

保証とアフターサービス (よくお読みください) 48

仕様 49

商標について 51

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■ 故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■ 異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。



警告

電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など)



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。



警告

■ 設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 指定の別売据置きスタンドをご使用ください。(P.11 ページ)
- 壁への取り付けには VESA 規格準拠の壁掛け金具を必ずご使用ください。
75V 型 : VESA 400 × 400 (P.8 ページ)
- 落下防止のため、液晶ディスプレイと壁掛け金具の重量に十分耐える様、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

■ 雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

接触
禁止

■ 上に水などの液体の入った容器を置かないでください

(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください



火災・感電の原因となります。

水場使用
禁止

■ 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

■ 裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください



分解
禁止



感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあげないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■ 付属のネジは乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込む恐れがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ 人が通る場所で使用する場合、タッチパネル用 USB ケーブルを PC に接続しないでください

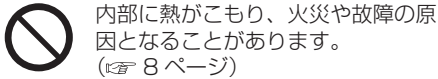


ぶつかったり、USB ケーブルに足を引っかけたりして、火災や感電、けがの原因になることがあります。

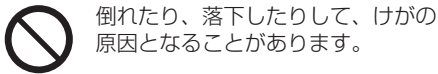
- 人が通る場所で使用する場合は、機器の周囲に囲いを設けるなどして、人が近づけないようにしてください。

注意

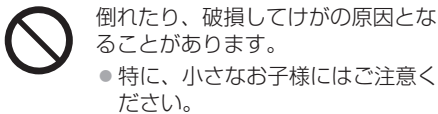
- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- あお向けにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。



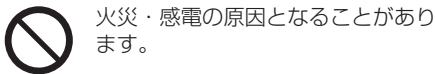
- 上に物を置かないでください



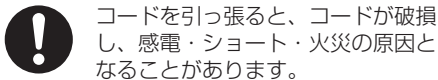
- 本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください



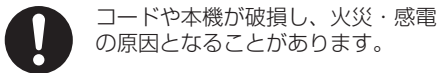
- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



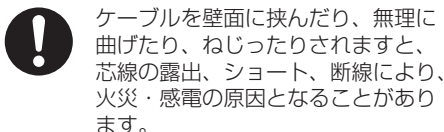
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



- 移動させる場合は、電源プラグや機器の接続線、転倒防止具を外してください。

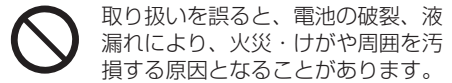


- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください

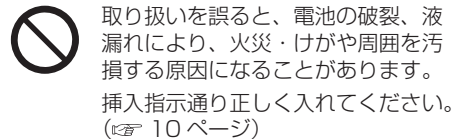


- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

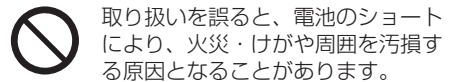
- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



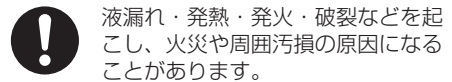
- 電池を入れるときには、極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れないでください



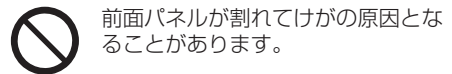
- 被覆のはがれた電池は使わないでください
(電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください)



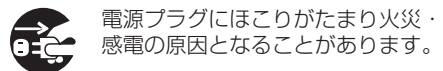
- 長時間使わないときは、リモコンから電池を取り出してください



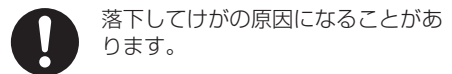
- 強い力や衝撃を加えないでください



- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



- 開梱や持ち運びは 4 人で行ってください



注意

- 本機を縦置きに設置されるときは、必ず電源インジケータを下側にして設置してください



 電源インジケータ

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 据置きスタンド(別売)をご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください



地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 据置きスタンドの説明書をよくお読みの方、必ず転倒防止の処置をしてください。

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

- 塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください



腐食による落下の原因になることがあります。また、本機の故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

- 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

- 付属のスピーカーの取り付け取り外しは、必ず4人で行ってください



ディスプレイ本体が落下して、けがの原因になることがあります。

使用上のお願い

■ 設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

屋外に設置しないでください。

- 本機は室内でご使用ください。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけて設置してください。

機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。

振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- VESA 規格準拠の設置金具をご使用ください。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

海拔 2 800 m 以上の場所に設置しないでください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- キャビネットの変形や故障の原因となります。

本機の使用環境温度は、**海拔 1 400 m 未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔 1 400 m 以上～2 800 m 未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。**

設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機を移動されるとき。

- 前面パネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。

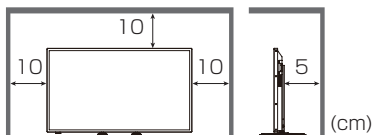
- 室内であっても直接日光が当たると液晶パネルの温度上昇により故障の原因になることがあります。

設置時の空間距離について

- 据置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は 10 cm 以上、後面は 5 cm 以上の間隔をおいて据えつけてください。また、本機下面と床面との空間をふさがらないでください。

その他の取り付けかた（壁掛けなど）でご使用のときは、対応する施工説明書に従ってください。（施工説明書に寸法の記載がない場合は、上下・左右は 10 cm 以上、後面は 5 cm 以上の間隔をおいて据えつけてください。）

最低空間距離：



- 本機の動作保証温度の上限は 40℃です。ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、液晶パネル前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が 40℃以下に維持するように適切な換気を実施行ってください。

**VESA 規格準拠の壁掛け金具を使用する場合
使用するねじについて**

	取り付けピッチ	取り付け穴の深さ	ねじ（本数）
75V 型	400mm × 400mm	25mm	M6 (4)

■ ご使用になるとき

電源インジケータおよびリモコンセンサーの可動構造に注意してください。

- 工場出荷時、電源インジケータおよびリモコンセンサーは本体内に格納されています。通常時はリモコンセンサーボックスを本体の端面より所定の位置にロックされるまで引き出してご使用ください。マルチ画面使用時など設置状況に応じて、リモコンセンサーボックスを本体内に収納してご使用ください。（[P.16・22](#) ページ）

本機は残像が発生することがあります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがあります。残像は通常の動画をしばらく表示すると解消されます。

画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

使用される温度・湿度条件によっては明るさのムラが発生することがありますが、故障ではありません。

- 連続通電でムラは消えていきます。消えない場合は、販売店にご相談ください。

前面パネル表面について

- 前面パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。傷や汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。

適度の音量で隣近所への配慮を

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

液晶ディスプレイ本体の一部が熱くなることがあります。

- 前面パネル表面、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

長時間で使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体の主電源スイッチで電源を切った場合の消費電力は 0W となりますが、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切った場合は約 0.5W の電力を消費します。(P.13 ページ)

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがあります。故障ではありません。

お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

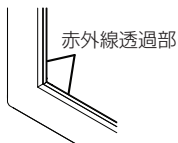
キャビネットや前面パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

- ひどい汚れや前面パネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 前面パネルの表面に付属のペンの素材などが付着した場合は、濡らした布で拭いてください。付属のペン以外を使用し深い傷が付いた場合、拭いても取れないことがありますのでご注意ください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。



お知らせ

- 前面パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。
- 赤外線透過部の汚れは柔らかい布でふき取ってください。1 日 1 回は、赤外線透過部の汚れを柔らかい布でふき取ってください。赤外線透過部の汚れが原因で不具合が発生した場合は、軽くふき取るだけで機能は回復します。ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



化学ぞうきんのご使用について

- 前面パネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの変質や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



■ タッチパネルについて

本機は光学式タッチパネルを搭載しています。下記の事項をお守りください。

直射日光の当たる所や強力な光源に近い所で使用しないでください。

- 本機は赤外線を使った光学式タッチパネルですので、影響を受け誤作動の原因となります。

タッチパネルの操作には必ず指先か付属のペンをご使用ください。爪やボールペン、鉛筆など、硬いものや先が尖ったもので操作しないでください。

赤外線を使用した他の機器をご使用の場合は、誤動作しないよう離れた所でご使用ください。

■ 複数台設置について

本機を複数台並べて設置すると、自機の赤外線が隣接するディスプレイの赤外線透過部に侵入することでタッチパネルが誤動作する可能性があります。

互いのディスプレイに影響を与えないように設置してください。

■ 廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

第 1 章

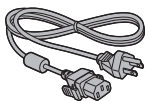
はじめに

付属品の確認

付属品が入っていることをご確認ください。
< >は個数です。

- 電源コード< 1 >
(約 2 m)

● 1JP155AF1J

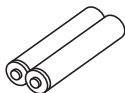


- リモコン< 1 >

● DPVF1671ZA

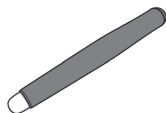


- 単 3 形乾電池< 2 >
(リモコン用)



- ペン< 1 >

● TKR5ZA45001



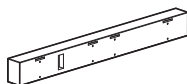
- クランパー< 3 >

● DPVF1697ZA



- スピーカー< 1 >

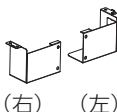
● DPVF1698ZA



- スピーカー
取り付け金具< 2 >

● DPVF1709ZA (左)

● DPVF1710ZA (右)



(この金具はスピーカーと組み立てられた状態で同梱されています。)

- スピーカー取り付け用
ビス (M3) < 4 >

● DPVF1701ZA



- スピーカーケーブル< 2 >
(約 0.7 m)

● DPVF1702ZA

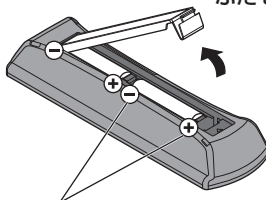


お願い

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

リモコンの電池の入れかた

ふたをあげる



単 3 形乾電池

電池を入れ、ふたをしめる

(⊖ 側から先に入れます。)

お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

次の点にご注意ください。

1. 電池は常に 2 本 1 組で交換してください。
2. 使用済み電池と新しい電池を組み合わせないでください。
3. 異なる種類の電池を組み合わせないでください (例えばマンガン電池とアルカリ電池など)。
4. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。
5. 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

別売オプション

別売オプションの据置きスタンドは、しっかり取り付けてください。なお、取り付けについては専門業者にご依頼ください。

取り付けは 4 人で行ってください。

据置きスタンド：

- ・ TY-ST75PE9

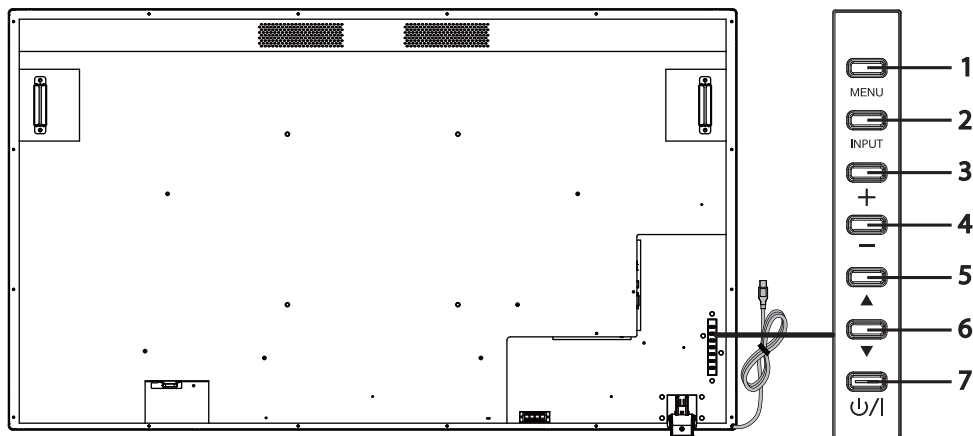
お願い

- 据置きスタンドを取り付けるときは同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。また、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 設置は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- スタンドまたは壁掛け金具の設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 設置時、衝撃などによる「液晶パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 別売オプションの品番は、予告なく変更する場合があります。

■ ボタンとインジケータ

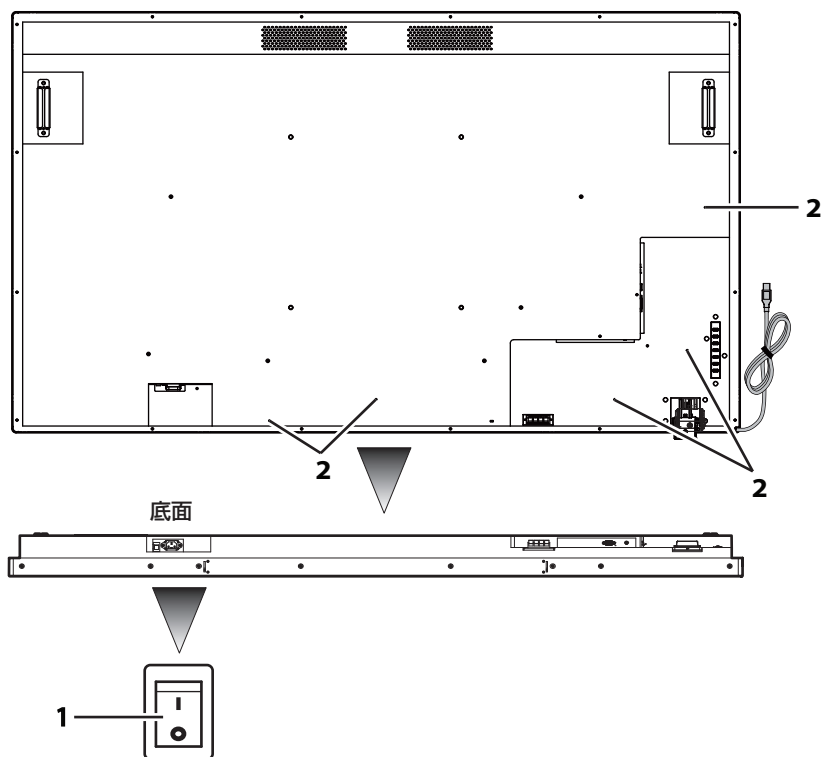
後面

コントロールボタン



- | | | |
|---|-------------------|--|
| 1 | [MENU] ボタン | オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューに入ります。 |
| 2 | [INPUT] ボタン | OSD メニューを表示して入力ソースを切り換えます。
[HDMI1]、[HDMI2]、[DVI-D]、[PC]、[USB] を、上 (▲) / 下 (▼) ボタンで選択できます。 |
| 3 | プラス (+) ボタン | 音量を上げます。 |
| 4 | マイナス (-) ボタン | 音量を下げます。 |
| 5 | 上 (▲) ボタン | OSD メニューでハイライトされた箇所を上に移動します。 |
| 6 | 下 (▼) ボタン | OSD メニューでハイライトされた箇所を下に移動します。 |
| 7 | [POWER] ボタン (⏻/⏿) | 電源をオフ / オンします。このボタンは、電源インジケータが消灯時は操作できません。その場合は、主電源スイッチをオンにしてください (13 ページ参照)。 |

後面



1 主電源スイッチ

主電源の「オフ (O) / オン (I)」を切り換えます。機器への電源の遮断 / 接続に使用します。

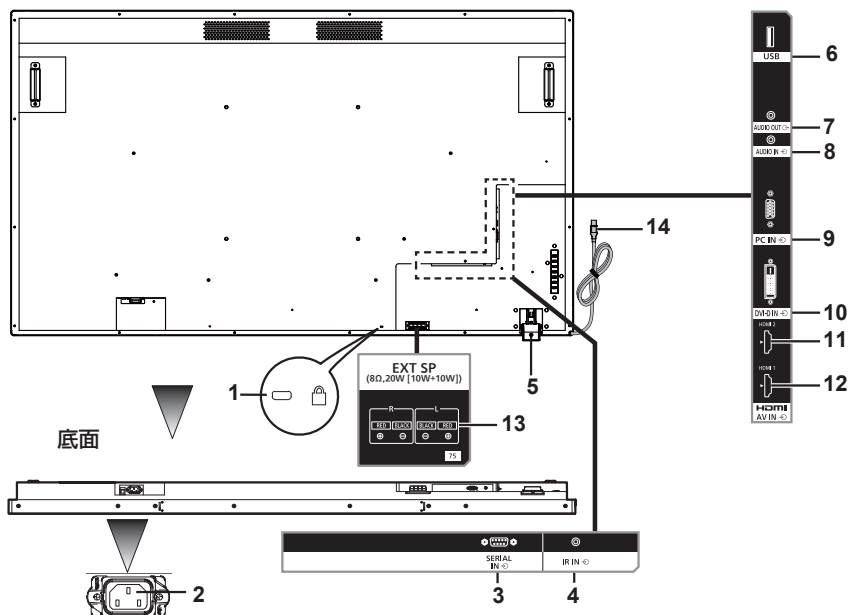
2 ケーブルクランプ取付用穴

ケーブルを本機に固定するために使用します。

ケーブルと端子

ケーブルの種類と接続に関する詳細は、18 ページを参照してください。

後面



- 1 盗難防止用ロック取付穴 セキュリティーおよび盗難防止に使用します。
- 2 AC IN (3 ピン、接地端子付き) 付属の電源コードと接続します。クラス I の製品には、接地を施した主電源の接続が義務付けられています。
- 3 SERIAL IN パソコンに接続して、本機を制御します。
- 4 IR IN IR 入力端子、IR ケーブルと接続します。IR ケーブルのご購入については販売店にお問い合わせください。
- 5 リモコンセンサーと電源インジケーター
リモコンセンサー：リモコンからの信号を受信します。
電源インジケーター：液晶ディスプレイの状態を示します。
詳しくは、24 ページを参照してください。
- 6 USB USB メモリー用の USB 入力端子。
- 7 AUDIO OUT アンプつきスピーカーを接続するための端子です。音声メニュー [出力切換] で [AUDIO OUT] を指定した場合に音声が出力されます。出力はリモコンの [VOL] ボタン (+/-) で調整できます。
- 8 AUDIO IN PC、VCR、DVD プレーヤーなどの外部機器の音声出力ケーブルと接続します。HDMI 入力では、[音声] メニューの [音源] で、この [AUDIO IN] を選択できます。(P. 40 ページ)
DVI-D/PC 入力では [AUDIO IN] 固定です。
- 9 PC IN PC のアナログビデオ信号出力端子と接続します。
- 10 DVI-D IN PC などのデジタルビデオ信号出力端子と接続します。
- 11 HDMI 2 HDMI インターフェースの音声 / ビデオ信号に対応した機器と接続します。
- 12 HDMI 1 HDMI インターフェースの音声 / ビデオ信号に対応した機器と接続します。
- 13 EXT SP 付属のスピーカーの L/R と + / - 端子に接続します。
[音声] メニューの [出力切換] で [EXT SP] を指定した場合に音声が出力されます。出力はリモコンの [VOL] ボタン (+/-) で調整できます。
PC の USB 端子に接続しタッチパネルを使用します。
- 14 タッチパネル用 USB ケーブル

リモコン

- | | | | | | |
|----|---------------------|---|----|---------------|----|
| 1 | [POWER] ボタン | 電源を切/入します。電源インジケータが消灯している場合は、リモコンは動作しません。 | 1 | POWER | 3 |
| 2 | [AUTO ADJUST] ボタン | PC 入力時、自動調整選択メニューを表示します。 | 2 | AUTO ADJUST | 4 |
| 3 | [PICTURE STYLE] ボタン | 表示している入力の画像モードの設定メニューを表示します。 | 5 | PICTURE STYLE | 7 |
| 4 | [SOUND STYLE] ボタン | 表示している入力の音声モードの設定メニューを表示します。 | 6 | SOUND STYLE | 8 |
| 5 | [PICTURE] ボタン | 表示している入力の映像設定メニューを表示します。 | 9 | PICTURE | 10 |
| 6 | [SOUND] ボタン | 表示している入力の音声設定メニューを表示します。 | 11 | SOUND | 12 |
| 7 | [SET UP] ボタン | [設定]メニューを表示します。 | 13 | SETUP | 14 |
| 8 | [ASPECT] ボタン | アスペクト比の設定画面を表示します。 | 15 | ASPECT | 17 |
| 9 | [MENU] ボタン | OSD メニューをオン/オフします。 | 16 | MENU | 19 |
| 10 | [RETURN] ボタン | 前のメニュー画面に戻ります。 | 18 | RETURN | 21 |
| 11 | 上下左右ボタン | メニュー画面の操作に使用します。 | 20 | EXIT | 22 |
| 12 | [OK] ボタン | 項目を選択します。 | 23 | INFO | 25 |
| 13 | [EXIT] ボタン | OSD メニューをオフします。 | 15 | R | 17 |
| 14 | [INFO] ボタン | 選択されている入力ソースを表示します。 | 16 | G | 19 |
| 15 | [MEDIA CONTROL] ボタン | 特定のメニューの各種制御機能を提供します。各ボタンの機能は、それぞれのボタンの色で OSD に表示されます。 | 18 | Y | 21 |
| 16 | [VOL] ボタン | プラス (+) 側を押すと、音声出力レベルが上がります。マイナス (-) 側を押すと、音声出力レベル下がります。 | 20 | B | 22 |
| 17 | [SLEEP] ボタン | スリープタイマーを調整します。 | 16 | + | 19 |
| 18 | [MUTE] ボタン | 音声をミュートします。ミュートを解除するには、もう一度押します。電源がオフになったり、音量レベルが変わると、音声も復帰します。 | 18 | - | 21 |
| 19 | [INPUT] ボタン | 入力ソースを切り換えます。 | 18 | MUTE | 21 |
| 20 | [HDMI] ボタン | HDMI 入力を選択します。 | 20 | INPUT | 22 |
| 21 | [DVI] ボタン | DVI-D 入力を選択します。 | 20 | HDMI | 22 |
| 22 | [PC] ボタン | PC 入力を選択します。 | 20 | DVI | 22 |
| 23 | [メディア操作] ボタン | メディアファイルの再生中に制御機能を提供します。早戻し (◀◀)、再生 (▶)、早送り (▶▶)、前 (◀◀)、停止 (□)、一時停止 (⏸)、次 (▶▶)。 | 23 | PC | 22 |
| 24 | [USB] ボタン | USB 入力を選択します。 | 24 | USB | 25 |
| 25 | [-] ボタン | 本機ではサポートしていません。 | 24 | - | 25 |



リモコンの使い方

■ リモコンセンサーの設定

リモコンを使用する前に、液晶ディスプレイのリモコンセンサーの位置を決めます。

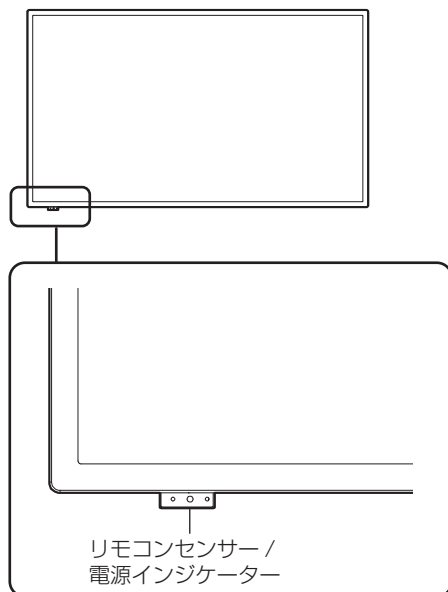
リモコンセンサーは液晶ディスプレイ後面の左側にある小さな黒いボックスです。

リモコンセンサーボックスを所定の位置にロックされるまで、液晶ディスプレイ後面からスライドして引きだします。

センサーを元の位置に戻すには、この手順を逆の順序で実行します。

■ リモコンの動作範囲

リモコンはリモコンセンサーの正面あるいはリモコンセンサーを見通せる方向からリモコンセンサー部へ向けて操作してください。



○ お知らせ

- 液晶ディスプレイのリモコンセンサーに直射日光や強い照明があたったり、センサーの軌道内に障害物があると、リモコンシステムが機能しないことがあります。
- 電源インジケータの点灯状態は、リモコンセンサーボックスを引き出すことにより確認できます。

■ リモコンを操作する

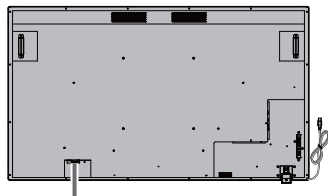
- ・ 強い衝撃を与えないでください。
- ・ リモコンに水などの液体がかからないようにしてください。リモコンが濡れた場合はただちに拭き取ってください。
- ・ 熱や蒸気にさらさないでください。
- ・ 乾電池を取り付ける時以外はリモコンのカバーを開けないでください。

第2章

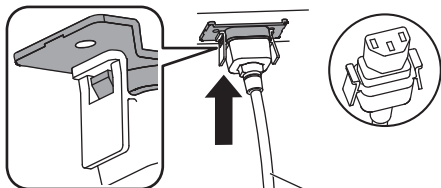
設置

電源コードの接続と固定

本体後面



電源コードの固定方法



電源コード（付属）

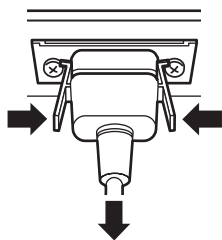
コネクターを本体へ差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。

お願い

- 左右のロックが掛かっていることを確認してください。

電源コードを外すとき



コネクター横のつまみを押しながら抜いてください

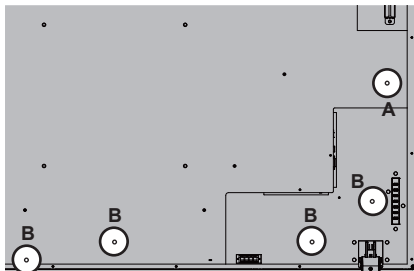
お願い

- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

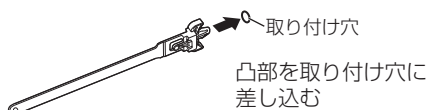
接続ケーブルの固定

お願い

- 本機はクランパーを3本付属しています。タッチパネルを使用しない場合、このうちの1本で、タッチパネル用 USB ケーブルを A の位置で固定してください。また、2本のクランパーでその他ケーブルを B の位置で固定してください。クランパーをご購入される場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。（サービスルート扱い）



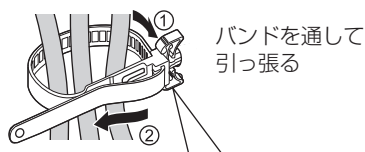
1. クランパーの取り付け



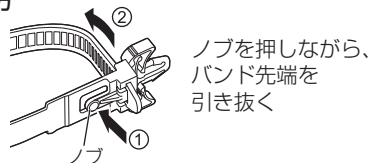
お知らせ

- 一度クランパー取り付け穴にクランパーを取り付けると、取り外すことはできません。

2. ケーブルを束ねる



緩め方



アナログビデオソースと接続する

■ アナログ接続

- 1 信号ケーブル（PC ケーブル）を PC IN 端子に接続します。
- 2 液晶ディスプレイの [INPUT] ボタン、またはリモコンの「INPUT」と表示された [^ / v] ボタンを使用して、[PC] を選択します。選択すると、音声自動的に [AUDIO IN] に切り換ります。

お知らせ

- リモコンの [PC] ボタンを使用して、直接 [PC] を選択することもできます。

音声の接続：

音声ケーブル（ $\phi 3.5\text{mm}$ ステレオミニプラグ（市販））を AUDIO IN コネクタに接続します。音声自動的に [AUDIO IN] に切り換わるため、ケーブルを接続するだけで音声出力されます。

デジタルビデオソースと接続する

■ デジタル接続

HDMI 端子経由の接続

- 1 HDMI 1 または HDMI 2 端子に市販の HDMI ケーブルを接続します。
- 2 液晶ディスプレイの [INPUT] ボタン、またはリモコンの「INPUT」と表示された [^ / v] ボタンを使用して、接続されたコネクタに合わせて [HDMI1] または [HDMI2] を選択します。

お知らせ

- リモコンの [HDMI] ボタンを使用して、直接 [HDMI1] または [HDMI2] を選択することもできます。

HDMI 入力時の音声の接続：

HDMI 入力では HDMI と AUDIO IN の選択ができます。（ 40 ページ）

DVI-D IN 端子経由の接続

- 1 DVI-D IN 端子に市販の DVI-D ケーブルを接続します。
- 2 液晶ディスプレイの [INPUT] ボタンまたはリモコンの [INPUT] ボタンを使用して、[DVI-D] を選択します。

お知らせ

- リモコンの [DVI] ボタンを使用して、直接 [DVI-D] を選択することもできます。

DVI-D 入力時の音声の接続：

DVI-D 入力では AUDIO IN 入力固定です。

お願い

- プラグ外形によっては、隣接する接続ケーブルのプラグ部やバックカバーなど周辺部に接触する場合があります。取り付けに適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
- 端子部の構造上、接続ケーブル / USB メモリーによっては、ご利用いただけないものがあります。必ず仕様書内の「端子部図面」をご確認ください。

業務用ディスプレイ【まかせなサイト】 https://panasonic.biz/cns/prodisplays/download/spec_manual/

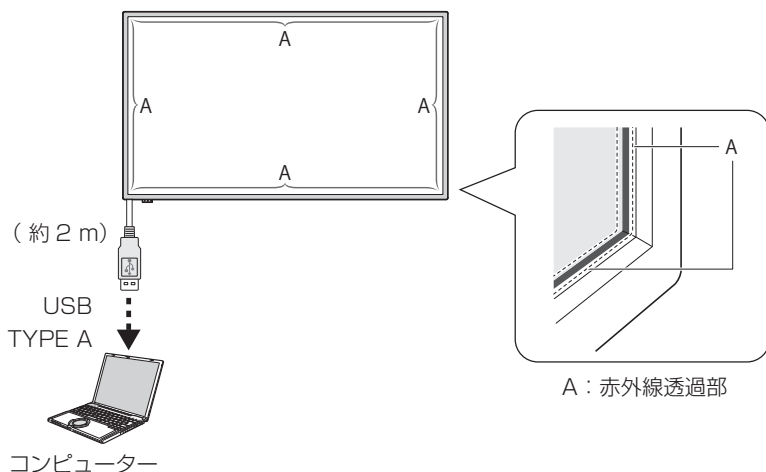
タッチパネルを使用する

- 1 ディスプレイの主電源スイッチをオフにします。
- 2 コンピューターとディスプレイのUSBケーブルを接続します。
- 3 コンピューターとディスプレイの映像入力端子を接続します。(☞ 18 ページ)
- 4 ディスプレイの主電源スイッチをオンにします。必要であればリモコンの [POWER] ボタンを押してディスプレイをオンにします。

■ディスプレイの設定

下記のディスプレイ設定を行ってください。

- ・入力信号をコンピューターと接続した映像入力に切り換えてください。
- ・コンピューターの画面がディスプレイに正しく表示されるように画面位置を設定してください。



お願い

- USBケーブルを強く引っ張るとタッチパネルの故障の原因になりますので、取り扱いにご注意ください。

お知らせ

- タッチパネル用USBケーブルの断線を防止するためにクランパーを用いて本機に固定してください。(☞ 17 ページ)
- 赤外線透過部の汚れは柔らかい布でふき取ってください。

1日1回は、赤外線透過部の汚れを柔らかい布でふき取ってください。赤外線透過部の汚れが原因で不具合が発生した場合は、軽くふき取るだけで機能は回復します。ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ホワイトボードソフトウェアを使う

「ホワイトボードソフトウェア」を使用して、資料や画像をキャプチャーしたりペンで描画するなど、様々な機能をご利用いただけます。

- 1 ホワイトボードソフトウェア (Windows 版、Mac 版) は、下記のサポートサイトから入手してください。

業務用ディスプレイ【まかせなサイト】

<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/>

- 2 詳しい使い方は、上記サイトにあるホワイトボードソフトウェア取扱説明書をご覧ください。

スピーカーの取り付け手順

付属品のスピーカーを取り付けます。

組み立てにはプラスドライバーが必要ですので、あらかじめご用意ください。

1 ディスプレイ本体の準備を行う

取り付けは4人で行ってください。

やわらかい布などを敷き、ディスプレイの画面が下側になるようにディスプレイ本体を置いてください。

- 引きずったりしてディスプレイ画面を傷つけないように十分ご注意ください。
- ディスプレイ本体を伏せて置くと、また持ち上げるとき、絶対に前面パネルを支持したり力を加えないでください。前面パネル内部が破損する恐れがあります。

2 以下の図のように、スピーカーをディスプレイに取り付ける

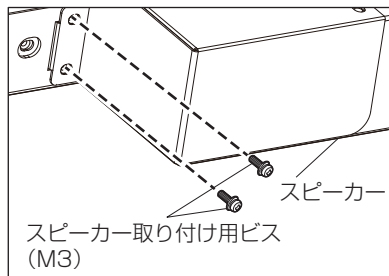
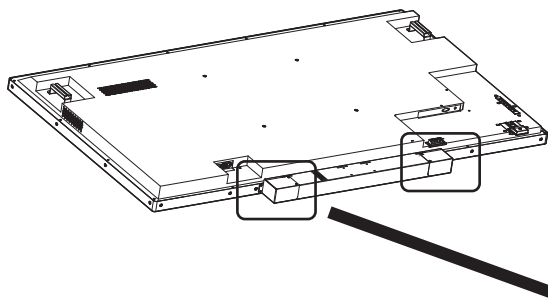
付属品のスピーカー取り付け金具 2 個およびスピーカー取り付け用ビス 4 本でスピーカーを固定してください。

締め付けトルク 0.5 ~ 0.8 N・m

お知らせ

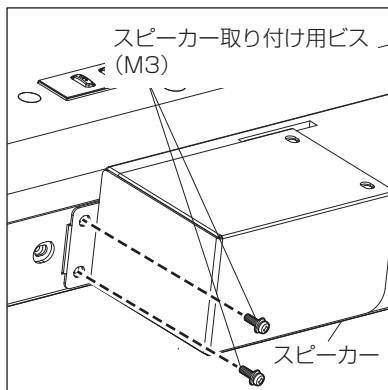
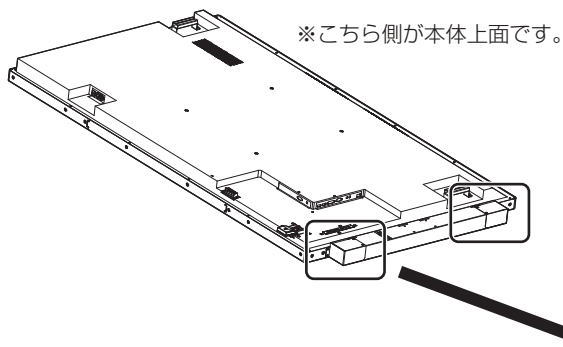
- スピーカー取り付け金具はスピーカーと組み立てられた状態で同梱されています。

■ 横置きの場合



※反対側も対称となる位置で固定してください。

■ 縦置きの場合



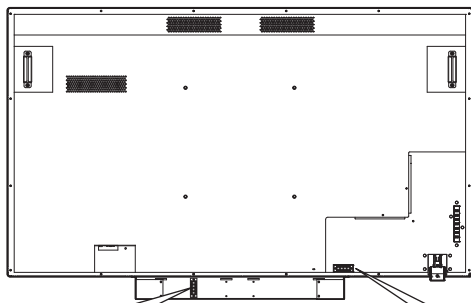
※反対側も対称となる位置で固定してください。

3 スピーカーケーブルを接続する

付属品のスピーカーケーブル2本でディスプレイのEXT SP端子とスピーカーを接続してください。

お知らせ

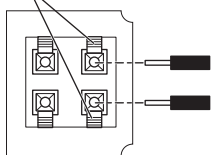
- RはR、LはLの端子に接続します。
- 赤は赤色の端子、黒は黒色の端子に接続します。
- スピーカーケーブルを接続するときは芯線部がショートしないようご注意ください。



1. レバーを押しながら

2. ケーブルを
差し込み

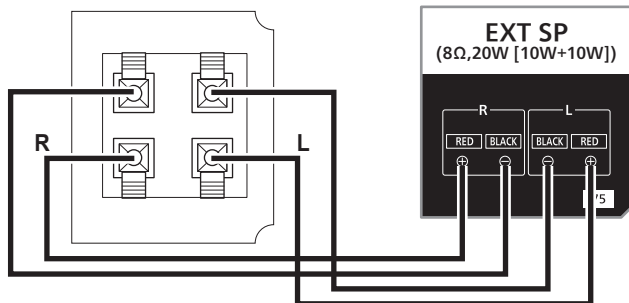
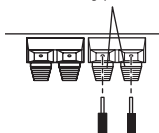
3. レバーを
離す



1. レバーを押し上げて

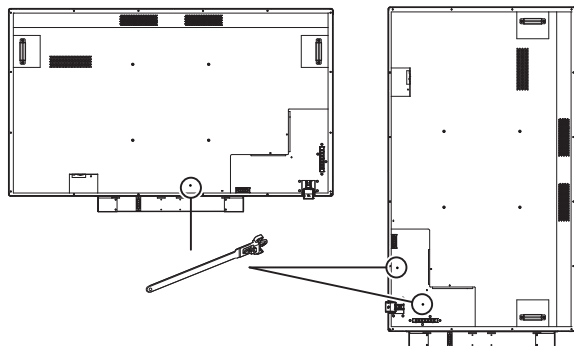
2. ケーブルを
差し込み

3. レバーを戻す



以下の箇所に付属品のクランパーを取り付け、ケーブルを固定してください。

ケーブルが長い場合は、このクランパーで束ねて固定してください。



第3章

操作

すべての接続機器の電源をオンにする

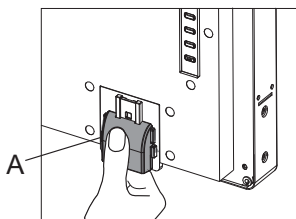
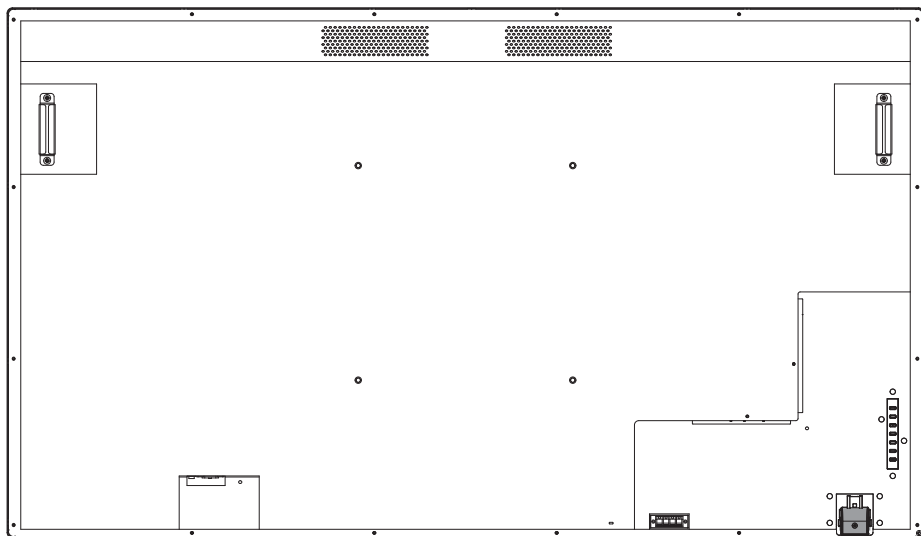
1 PC や DVD プレーヤーなどのすべての接続機器の電源をオンにします。

2 リモコンセンサーを設定します。

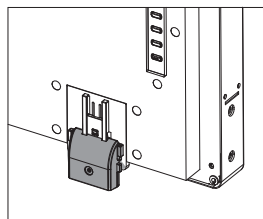
リモコンを使用する前に、液晶ディスプレイのリモコンセンサーの位置を決めます。

リモコンセンサーは液晶ディスプレイ後面の左側にある小さな黒いボックスです。センサーが所定の位置にロックされるまで、A の位置を親指などで押しながら下方向にスライドします（イラストの右下を参照）。

センサーを元の位置に戻すには、この手順を逆の順序で実行します。



リモコンセンサー格納時

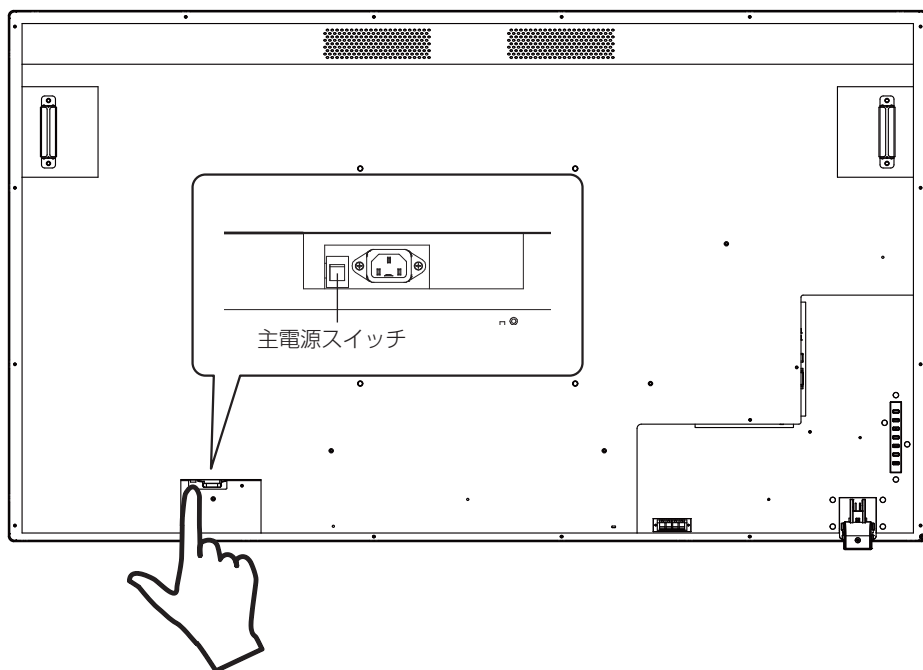


リモコンセンサー使用時

3 主電源スイッチをオンにします。

電源インジケータが点灯し、リモコンや後面のコントロールボタンの操作、シリアル制御を受け付け、スケジューラーが動作する状態になります。

主電源スイッチがオフ（電源インジケータは消灯）時は、後面のコントロールボタン、リモコン、スケジューラーの設定は動作しません。これらを使用する場合、主電源スイッチがオン（電源インジケータは点灯）であることを確認してください。



4 本機をオンにします。

本機の左側にある [POWER] ボタンまたはリモコンの左上の [POWER] ボタンを押します。



■ 電源管理機能

節電機能として、本機は下記 4 つの電源オフ機能に対応しています。

スリープタイマー

- 現在のソースの信号状況に関係なく、タイマーを設定してディスプレイの電源をオフにします。OSD メニューのスリープタイマーには、5 分、15 分、30 分、60 分、90 分、120 分、180 分、オフの選択肢があります。
- この値は保存されません。1 回のみ実行されます。初期設定は [オフ] です。

パワーマネージメント設定

- 現在のソースからの入力信号がないときに、ディスプレイの電源をオフ（スタンバイモード）にします。対象は HDMI/DVI-D/PC 入力です。この設定は 30 秒～ 300 秒の範囲または「無効」に調整できます。
- この値は保存されます。初期設定は「無効」です。
- この機能により、電源オフ（スタンバイモード）になった場合に、オフされたときの同一の入力に再び信号が入力されると、ディスプレイの電源がオンされます。
- 電源が切れる 20 秒前から切れるまでの残り秒数を表示します。

お知らせ

- 映像出力機器によっては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。その際には、本機能を [オフ] に設定してください。

無操作自動オフ

- 「有効」にすると、本機を約 4 時間以上操作しないとき、自動的に電源が切れます（スタンバイ）。
- 電源が切れる 3 分前から、切れるまでの残り時間を表示します。初期設定は「無効」です。
- 本機能が働いて電源が切れた場合、次回電源を入れたときに「無操作自動オフが働きました。」と表示します。

スケジューラー

- 電源オン時間と電源オフ時間を決める 7 つのスケジュールを設定できます。詳しい設定は、スケジューラー機能を参照してください。(☞ 43 ページ)

お知らせ

- ディスプレイには各設定の優先度を設定する優先度モードがあります。(☞ 41 ページ)
 - スケジューラーの設定のほうが、スリープタイマーとパワーマネージメントの設定よりも優先度が高くなります。
 - スリープタイマーとパワーマネージメントは同じ優先度ですが、両方が有効の場合は、パワーマネージメントまたはスリープタイマーの設定次第で、電源オフ時間が決定します。

電源インジケータ

ステータス	LED
主電源オフ	消灯
電源オフモード	赤
“スケジューラー”が有効時の電源スタンバイ	オレンジ
電源オンモード	緑
診断（不具合を検出）	赤点滅時：「販売店にお問い合わせください。」

OSD の言語を選択する

リモコンまたは液晶ディスプレイの左側にある [MENU] ボタンを押して、OSD メニューを表示します。OSD メニュー画面の [初期設定] メニュー内にある [メニュー言語] を使用して、OSD の言語を選択できます。42 ページを参照してください。

入力ソースを選択する

■ リモコンの [INPUT] ボタンで選択する

リモコンの「[INPUT]」と表示された [▲ / ▼] ボタンを使用して目的の入力ソースを選択できます。

入力ソースの選択肢は、[HDMI 1]、[HDMI2]、[DVI-D]、[PC]、[USB] です。

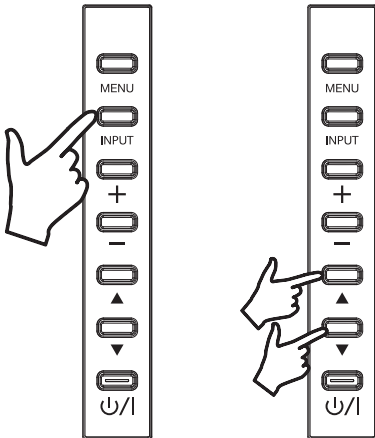
お知らせ

- リモコンの [HDMI] / [DVI] / [PC] / [USB] ボタンを使用して、それぞれ [HDMI1/2] / [DVI-D] / [PC] / [USB] を直接選択することもできます。



■ 本体の [INPUT] ボタンで選択する

本体の [INPUT] ボタンを押すと入力ソースの OSD メニューが表示されます。上 (▲) / 下 (▼) ボタンを使用して目的の入力ソースを選択できます。



入力ソースの選択肢は、[HDMI 1]、[HDMI2]、[DVI-D]、[PC]、[USB] です。[INPUT] ボタンを再び押すと、選択した入力ソースが表示されます。

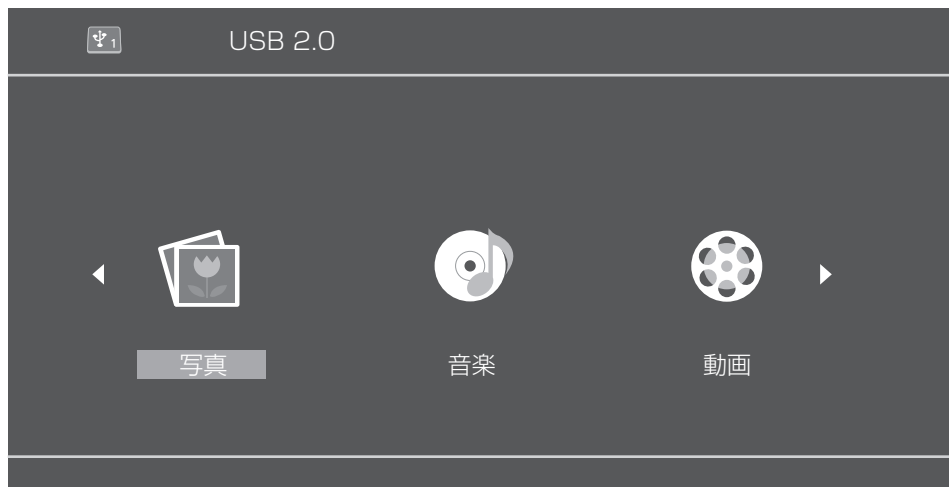
選択した入力ソースは、数秒後に自動入力されます。

USB メモリーのコンテンツを再生する

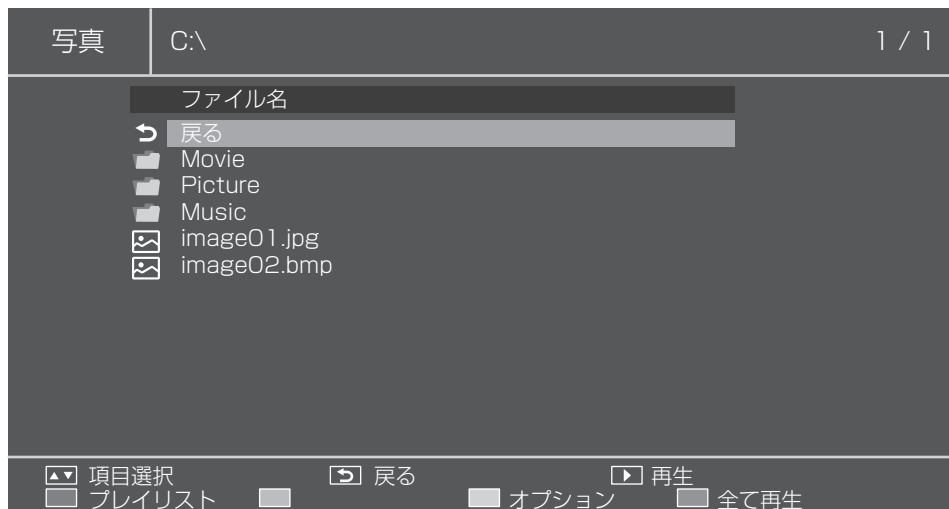
- 1 USB メモリーを USB 入力に挿入します。
- 2 リモコンまたは液晶ディスプレイの [INPUT] ボタンを使用して、USB を入力ソースとして選択します。

お知らせ

- リモコンの [USB] ボタンを使用して、直接 [USB] を選択することもできます。
- 3 OSD メニュー画面に、[写真]、[音楽]、[動画] の 3 つの選択肢が表示されます(メディアルートページ)。リモコンの左(◀)と右(▶)のボタンを使用して、再生したいコンテンツの種類を選択し、[OK] ボタンを押して選択を確定します。



- 4 状況に応じて、USB メモリーが「C:」として表示されます。リモコンの [OK] ボタンを押してこの C ドライブを開きます (メディアリストページ)。
- 5 リモコンの上(▲)と下(▼)のボタンを使用して、USB メモリーのコンテンツを検索します。[OK] ボタンを押して、再生したいコンテンツを開きます。



- 6 メディア再生ボタン（早戻し（◀◀）、再生（▶）、早送り（▶▶）、前（◀◀）、停止（□）、一時停止（◻）、次（▶▶））を使用して、メディアファイルの再生操作を行います。
- 7 この方法でコンテンツファイルを再生している間、リモコンの色のついたボタンが有効になります。各ボタンの機能はメディアソースのモードで決定され、液晶ディスプレイの OSD メニューの一番下に表示されます。33 ページの「プレイガイド利用時のリモコンボタン」を参照してください。液晶ディスプレイのメニューボタンの機能も変わります。以下の表に、USB 入力を選択しているときのメニューボタンのそれぞれの機能を説明します。

USB 入力を選択しているときのメニューボタンの機能			
キーボードの定義	USB 入力の選択状態		
キー名称	メディアルートページ	メディアリスト / プレイリストモード	メディアプレイヤーモード
メニュー	入力ソースキー	終了	終了
入力	OK	ファイル上：再生 / 停止 フォルダ上：[OK] キー OSD のダイアログ上： [OK] キー	再生 / 停止
音量を上げる	[右] キー	[右] キー	音量を上げる
音量を下げる	[左] キー	[左] キー	音量を下げる
上	上キー	上キー	次の画像 / 音楽ファイル / 動画
下	下キー	下キー	前の画像 / 音楽ファイル / 動画
電源	電源オフ	電源オフ	電源オフ

■ 対応デバイスについて

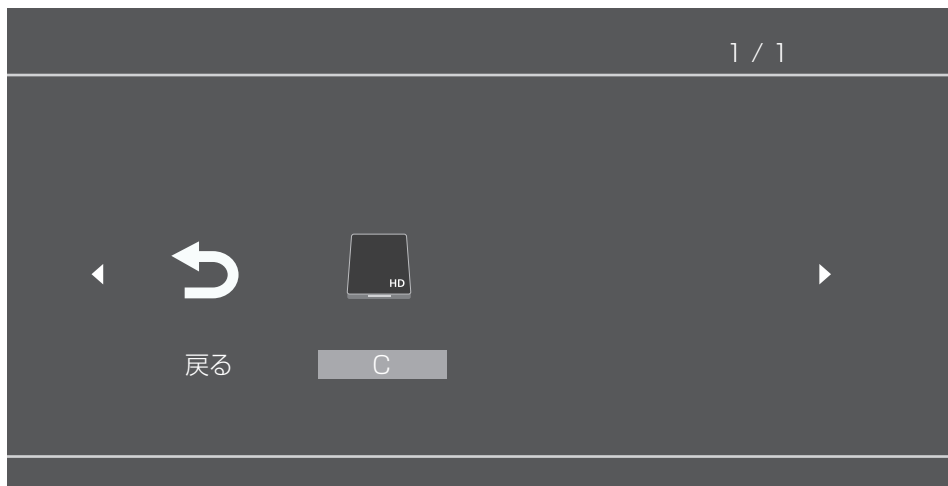
- 市販の USB メモリーに対応しています。（セキュリティー機能がついたものは非対応。動作保証外です。）
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたもの以外は使用できません。
- USB の最大メモリサイズは、32GB です。
- シングルパーティション構成にのみ対応しています。

お知らせ

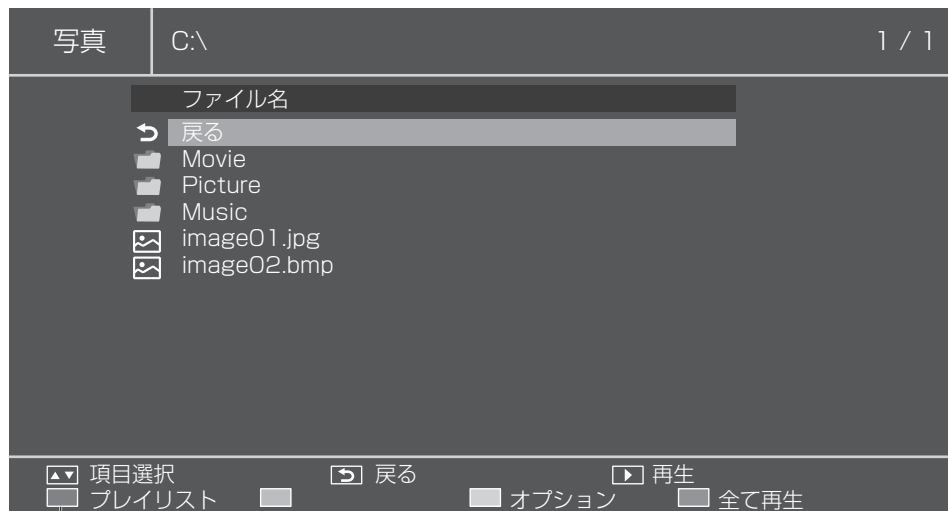
- 1 ファイルの最大サイズは、2GB までです。
- 記載されている対応フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。
- デジタル著作権管理（DRM）で保護されたファイルは再生できません。
- 映像と音声をともに対応しているコーデックとしてください。動画ファイルの音声コーデックが非対応フォーマットの場合、映像が正しく表示されない場合があります。
- ファイルの画素数が画面サイズを超える場合、画質が変化します。

■ プレイリストを設定する

- 1 コンテンツタイプのメニュー（[写真]、[音楽]、[動画]）の中から1つ選択します。
- 2 USBメモリーが「C」として表示されます。リモコンの[OK]ボタンを押してこのCドライブを開きます。



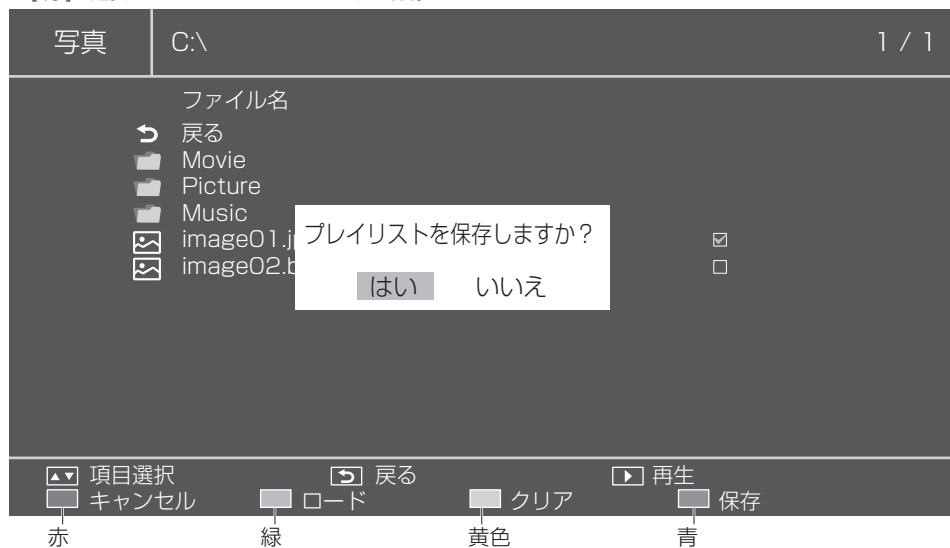
- 3 [赤]ボタンを押すと、チェックボックスが表示されるので上(▲)下(▼)ボタンでファイルを選択し[OK]ボタンでチェックして選択したファイルをプレイリストに追加します。



赤

4 メディア操作ボタンを使用して、プレイリストのメニューの選択肢を選択します。

- [赤]: キャンセルして、前のメニューに戻ります。
- [緑]: 既存のプレイリストをロードします。
- [黄]: 現在のプレイリストで選択したすべてのファイルをクリアします。
- [青]: 選択したファイルをプレイリストに保存します。




5 プレイリストが定義されていない場合、[赤] ボタン (全て再生)、[OK] ボタン、[再生] ボタン (▶) のいずれかを押し、現在のフォルダのすべてのファイルを再生します。

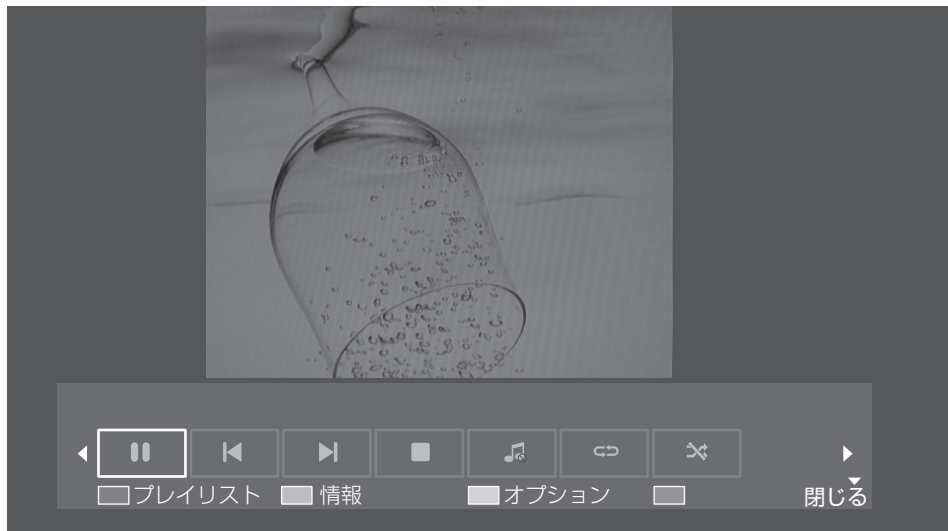
お知らせ

- プレイリストを保存せずに他の入力ソースに切り換えると、作成中のプレイリストは破棄されます。

■ 音楽をバックグラウンド再生する

 このアイコンで、音楽をバックグラウンド再生します。写真が格納されているフォルダに音楽も含まれている場合は、写真を再生している間に音楽をバックグラウンド再生できます。

- 1 上 (▲) ボタンでプレイガイドを表示します。

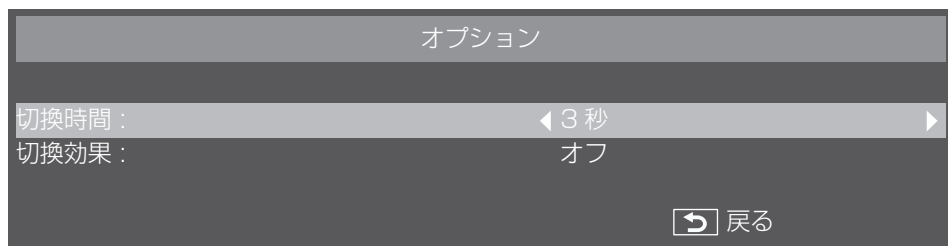


- 2 リモコンの左 (◀) と右 (▶) のボタンを使用して、音楽をバックグラウンド再生するアイコンを選択し、[OK] ボタンを押して選択を確定します。
- 3 写真が格納されているフォルダに音楽も含まれている場合は、写真を再生している間に音楽をバックグラウンド再生できます。

■ スライドショー設定

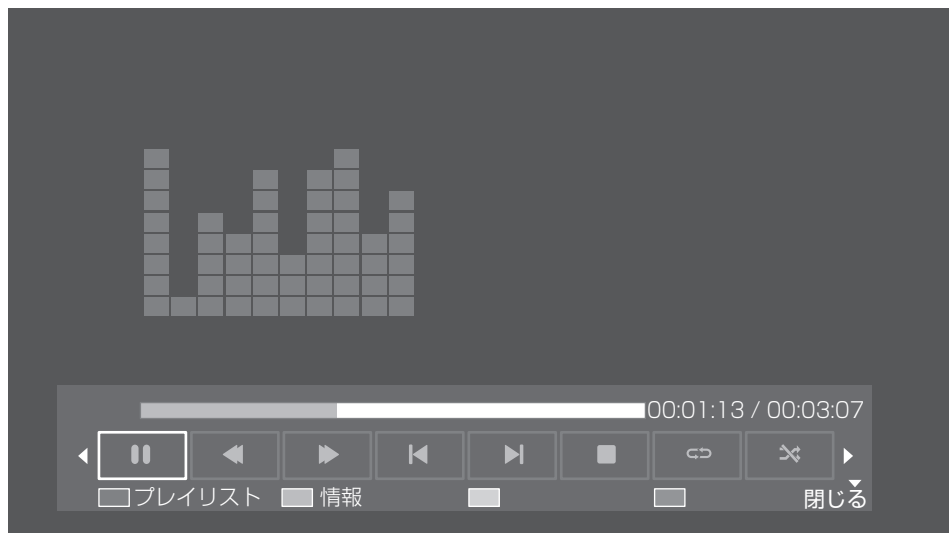
写真の再生モード時に、スライドショーを使用して、選択可能なすべての写真（またはプレイリストのすべての写真）を再生できます。

[黄] ボタンを使用して、スライドショーのオプションを表示します。



- 1 **切替時間**：スライドショーの各画像を表示されるまでの待ち時間を設定します。
 - ・ 3 秒～ 20 秒 / 1 秒単位で設定できます。
- 2 **切替効果**：スライドショーの画像の切替効果の種類を設定します。
 - ・ オフ
 - ・ スクロール左
 - ・ スクロール右
 - ・ スクロール上
 - ・ スクロール下
 - ・ ボックスイン
 - ・ ボックスアウト

■ プレイリストを再生する



プレイリストを再生している間、追加機能を提供するプレイガイドを利用できます。上 (▲) ボタンを使用して、機能を表示します。

左 (◀) と右 (▶) のボタンを使用して機能を選択します。

[OK] ボタンを使用して、機能の選択を確定します。[情報] ボタンを使用してプレイガイドを非表示にします。

プレイガイドの機能	
リモートキー	機能
⏸/▶	一時停止 / 再生
⏩	早送り ([写真] モードでは利用できません)
⏪	早戻し ([写真] モードでは利用できません)
▶	次の写真 / トラック / ファイル
◀	前の写真 / トラック / ファイル
□	再生を停止する
🎵	音楽をバックグラウンド再生 / 停止 ([写真] モードのみで利用できます。この機能が利用できない場合は、ボタンを押しても動作しません。)
🔄	リピート：すべてのファイルを繰り返し連続再生します。
🔀	シャッフル：すべてのファイルをランダム再生します。

プレイガイド利用時のリモコンボタン

リモコンボタン	写真	音楽	動画
▲	プレイガイドを表示	プレイガイドを表示	プレイガイドを表示
▼	プレイガイドを非表示	プレイガイドを非表示	プレイガイドを非表示
◀ / ▶	項目を選択 (再生 / 停止 / 上にスキップ / 下にスキップ / 停止 / 音楽 / リピート / シャッフル / 切換時間 / 切換効果)	項目を選択 (停止または再生 / 早送り / 早戻し / 上にスキップ / 下にスキップ / リピート / シャッフル)	項目を選択 (停止または再生 / 早送り / 早戻し / 上にスキップ / 下にスキップ / リピート / シャッフル)
OK	項目を選択 (再生 / 停止 / 上にスキップ / 下にスキップ / 停止 / 音楽 / リピート / シャッフル / 切換時間 / 切換効果)	項目を選択 (停止または再生 / 早送り / 早戻し / 上にスキップ / 下にスキップ / リピート / 情報)	項目を選択 (停止または再生 / 早送り / 早戻し / 上にスキップ / 下にスキップ / リピート / 情報)
▷	選択した項目を再生	選択した項目を再生	選択した項目を再生
□	停止してリスト画面に戻る	停止してリスト画面に戻る	停止してリスト画面に戻る
▢	スライドショーを一時停止	再生を一時停止	再生を一時停止
▷▷	未使用	早送り	早送り
◀◀	未使用	早戻し	早戻し
▷▷	次の写真	次のトラック	次のトラック
◀◀	前の写真	前のトラック	前のトラック
[赤] 	[プレイリスト]: プレイリストの詳細を表示	[プレイリスト]: プレイリストの詳細を表示	[プレイリスト]: プレイリストの詳細を表示
[緑] 	[情報]: 現在のファイルの詳細を表示	[情報]: 現在のファイルの詳細を表示	[情報]: 現在のファイルの詳細を表示
[黄] 	[オプション]: スライドショーのオプション	未使用	未使用
[青] 	[全て再生]	[全て再生]	[全て再生]
INFO	プレイガイドを表示 / 非表示	プレイガイドを表示 / 非表示	プレイガイドを表示 / 非表示
↶	リスト画面に戻る	リスト画面に戻る	リスト画面に戻る

1 シリアルによる制御

[設定]メニューから、[制御設定]を[SERIAL IN]にしてください。(☞ 41 ページ)

RS-232C ケーブル：

SERIAL IN 端子 (オス) にシリアルクロスケーブル (リバース) を接続します。

SERIAL IN 端子とパソコンをつなぐ通信用 RS-232C ケーブルは、ご使用になるパソコンに合わせてご用意ください。

シリアルで直接接続するには、Rx D、Tx D、GND 配線を使用してください。

この通信インターフェースを使用して、ディスプレイをリモートで制御できます。

2 通信条件

信号レベル：RS-232C 準拠

同期方式：調歩同期 (非同期)

ボーレート：9600 bps

パリティ：なし

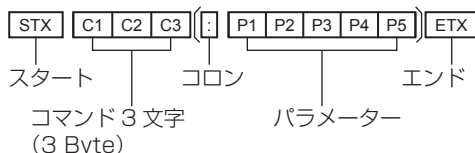
キャラクター長：8 ビット

ストップビット：1 ビット

フロー制御：なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



3 コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	***	音量 000 ~ 100
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
IMS	なし	入力切替 (トグル)
	HM1	HDMI 1 入力 (HDMI1)
	HM2	HDMI 2 入力 (HDMI2)
	DV1	DVI-D IN 入力 (DVI-D)
	PC1	PC IN 入力 (PC)
	UD1	USB 入力 (USB)
VMT	0	映像ミュート (OSD 含む) オフ
	1	映像ミュート (OSD 含む) オン

お願い

- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロロン (:) は必要ありません。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
- 電源「スタンバイ」状態 (リモコンで電源「切」) 中は“PON”コマンド以外の動作は保証されません。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。または、以下のサポートサイトをご参照ください。
業務用ディスプレイ【まかせなサイト】
<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/>

OSD 画面の構成と基本操作

本機では、設定を簡単に調整できるよう OSD(オンスクリーンディスプレイ) 機能を採用しています。OSD 機能で、画面に表示されたメニューを操作して、輝度やその他の設定を調整できます。

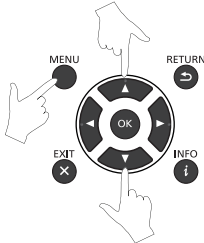

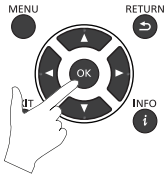
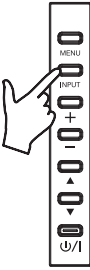
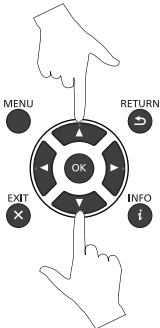



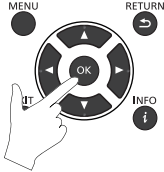

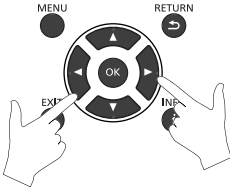

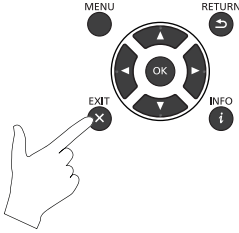

この表には、メインメニュー画面の OSD の初期設定の機能が記載されています。詳細項目は、次ページ以降に説明します。

メインメニュー画面	
メニュー項目	詳細情報
映像	38 ページを参照
音声	40 ページを参照
設定	41 ページを参照
初期設定	42 ページを参照
システム情報	44 ページを参照

■ OSD 画面の基本操作

電源インジケータが緑色に点灯し、本機の電源がオンであることを確認してください。

ステップ	リモコン	モニターのボタン
1	 <p>[MENU] ボタンを押して、OSD 画面を表示し、上(▲)/下(▼)ボタンを使用して、メインメニューの項目を選択します。</p>	
2	 <p>[OK] ボタンを押して選択したメインメニューを確定すると、一番上にあるサブメニューが選択されます。</p>	 <p>[INPUT] ボタンを押して選択したメインメニューを確定すると、一番上にあるサブメニューが選択されます。</p>
3	 <p>上(▲) / 下(▼) ボタンを使用して、サブメニューを選択します。</p>	

ステップ	リモコン	モニターのボタン
4	 <p>[OK] ボタンを押して選択したサブメニューを確定します。</p>	 <p>[INPUT] ボタンを押して選択したサブメニューを確定します。</p>
5	 <p>左 (◀) と右 (▶) のボタンを使用して、設定を選択します。</p>	 <p>プラス (+) とマイナス (-) のボタンを使用して、設定を選択します。</p>
6	 <p>[EXIT] ボタンを押して現在のメニューを終了します。</p>	 <p>[MENU] ボタンを押して現在のメニューを終了します。</p>

■ 映像のメニュー画面

メインメニューで [映像] を選択してリモコンの [OK] ボタンを押すか、リモコンの [PICTURE] ボタンで [映像] メニューを表示して、画質の調整が可能です。

映像	
画像モード	ダイナミック
バックライト	100
色温度	11500
ガンマ	2.2
ノイズリダクション	中
アダプティブコントラスト	オフ
オーバースキャン	オフ
アスペクト	16:9
色範囲	自動
PC 設定	
映像設定をリセット	

映像のメニュー画面	
画像モード	<p>リモコンの [OK] ボタンで [画像モード] メニューに移り、以下のモードに変更できます。</p> <p>[画像スタイル]：表示する画像に適したモードが選択できます。</p> <p>[ダイナミック]：明るさが最大になります。</p> <p>[シネマ]：映画コンテンツの再生に適しています。</p> <p>[カスタム]：以前に保存したカスタム画像設定を使用します（デフォルトでは [標準] の設定を使用）。OSD メニュー画面の [画像モード] 内の [カスタム] で設定します。</p> <p>[スタンダード]：標準的な画質です。</p> <p>・ [シネマ] は入力信号に合わせて選択可能となります。</p> <p>画像スタイルを決める下記の各種設定ができます。</p> <p>[コントラスト]：映像明暗の差を調整します。</p> <p>[ブライトネス]：画面全体の明暗を調整します。</p> <p>[シャープネス]：映像輪郭の鮮明度を調整します。</p> <p>[色合い]：映像全体の色味を調整します。 赤 / 緑 / 青 / 黄 / シアン / マゼンタの色相について個別に設定できます。</p> <p>[カラー]：映像色彩を調整します。 赤 / 緑 / 青 / 黄 / シアン / マゼンタの彩度について個別に設定できます。</p> <p>設定後は、[画像スタイル：カスタム] として調整値が保存されます。</p> <p>・ これらの設定は、入力される映像によって調整による変化が小さい場合があります。</p>
バックライト	バックライトの設定を調整します。
色温度	色温度とゲインを調整します。
ガンマ	ガンマの設定を選択します。
ノイズリダクション	ノイズを低減する度合いを調節します。

アダプティブコントラスト	色の使い方を判断してコントラストを自動的に調整する機能をオフ / オンします。
オーバースキャン	オーバースキャンの設定を調整します。(PC 入力では動作しません。)
アスペクト	アスペクト比の設定を調整します。 ・設定可能なアスペクトについては、下表の「アスペクトのメニュー設定」を参照してください。
色範囲	色範囲の設定を調整、または [自動] に設定します。デジタルビデオソース入力時、入力信号に応じてダイナミックレンジを切り換えます。
PC 設定	水平・垂直位置、クロック、位相を調整します。(PC 入力時のみ動作します。)
映像設定をリセット	設定を工場出荷設定に戻します。

■ アスペクトのメニュー設定

映像	
画像モード	ダイナミック
バックライト	100
色温度	11500
ガンマ	2.2
ノイズリダクション	中
アダプティブコントラスト	オフ
オーバースキャン	オフ
アスペクト	◀ 16:9 ▶
色範囲	自動
PC 設定	
映像設定をリセット	

アスペクトのメニュー設定		
入力ソース	オーバースキャン	アスペクト
HDMI1/HDMI2 DVI-D PC	オフ	4:3 16:9 ドットバイドット
	自動	4:3 16:9 ズーム シネマ ドットバイドット
メディア動画	オフ	4:3 16:9
	自動	4:3 16:9 ズーム

■ 音声のメニュー画面

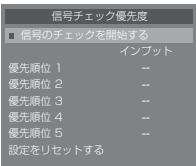
メインメニューで [音声] を選択してリモコンの [OK] ボタンを押すか、リモコンの [SOUND] ボタンで [音声] メニューを表示して、音声の調整が可能です。

音声	
音声モード	ダイナミック
サラウンドサウンド	オフ
出力切換	EXT SP
音源	HDMI1
音声設定をリセット	

音声のメニュー画面	
音声モード	<p>リモコンの [OK] ボタンで [音声モード] メニューに移り、以下のモードに変更できます。</p> <p>[音声スタイル] : 音声に適したモードが選択できます。</p> <p>[スタンダード] : 工場出荷設定</p> <p>[ダイナミック] : 音声を強調するための設定</p> <p>[カスタム] : 以前に保存したカスタム音声設定を使用</p> <p>音声スタイルを決める高音、低音、バランスの調整ができます。調整すると、[音声スタイル : カスタム] として値が保存されます。</p>
サラウンドサウンド	サラウンドサウンドをオフ / オンします。
出力切換	<p>[EXT SP] : [EXT SP] 端子に接続したスピーカーから音声を出力します。</p> <p>[AUDIO OUT] : [AUDIO OUT] 端子から音声の LINE OUT 信号を出力します。</p>
音源	[AUDIO IN/HDMI1] と [AUDIO IN/HDMI2] のいずれかを音声ソースとして選択します。
音声設定をリセット	設定を工場出荷設定に戻します。

■ 設定のメニュー画面

設定	
スケジューラー	オフ
信号チェック優先度	
制御設定	OFF
スリープタイマー	オフ
無操作自動オフ	無効
起動時お知らせメッセージ	オン
電源復帰モード	ラストメモリー
パワーマネージメント設定	無効
EDID	1.4
ソフトウェアの更新 (USB)	
工場出荷設定に戻す	

設定のメニュー画面	
スケジューラー	スケジュールの設定を変更します。
信号チェック優先度 	信号の優先度を 1 ～ 5 で設定します ([優先順位 1] が最高)。現在のソース信号を失うと、ディスプレイが信号チェック優先度の設定に応じて新たな信号ソースを検索します。 <ul style="list-style-type: none"> • [信号チェック優先度] が有効になっている場合、電源オン時にディスプレイが信号チェック優先度の設定に応じて有効な信号ソースを検索します。 • [優先順位 1] の信号ソースがない場合、ディスプレイは優先度の高い順に別のソースを確認して、ソースを適宜切り換えます。 • 優先度の一番高い信号ソースが復活したら、ディスプレイは自動的にこのソースに再び切り換えます。 • [信号チェック優先度] が無効になっている場合、電源オン時にディスプレイは最後に使用したソースを使用します。 • [信号チェック優先度] が有効になっている場合、電源オン時にソースが USB のときは、システムは USB を自動再生します。
制御設定	シリアル経由で、液晶ディスプレイを制御するよう選択します。
スリープタイマー	スリープタイマーの設定を変更、またはスリープタイマーをオフにします。
無操作自動オフ	本機を約 4 時間以上操作しない時、自動的にスタンバイにする機能を有効 / 無効にします。
起動時お知らせメッセージ	[無操作自動オフ] が有効時に表示されるお知らせメッセージの表示 / 非表示を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [無操作自動オフ] が [無効] の場合、設定できません。
電源復帰モード	[ラストメモリー]、[スタンバイ]、[オン]
パワーマネージメント設定	パワーマネージメントの設定を変更、またはパワーマネージメントモードをオフにします。

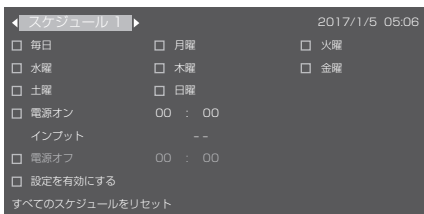
EDID	EDIDバージョンを映像機器に合わせた設定にすることで、本機と映像機器との互換性をより高めます。 [2.0] : 1 920 x 1 200 より高解像度の映像を出力可能な機器に対して互換性を高めます。 [1.4] (初期値) : 1 920 x 1 200 以下の解像度の映像を出力可能な機器に対して互換性を高めます。 ・映像出力機器 (パソコンや DVD プレーヤーなど) からの映像が出力されない場合は、EDID の設定を切り換えてお使いください。
ソフトウェアの更新 (USB)	USB 端子経由でソフトウェアを更新します (サービス用)。
工場出荷設定に戻す	設定を工場出荷設定に戻します。

■ 初期設定のメニュー画面

初期設定	
OSD 回転	◀ 水平 ▶
メニュー言語	日本語
時計	2017/1/5 05:04
ロゴ表示	有効
リモコン操作	有効
キーパッド操作	有効

初期設定のメニュー画面	
OSD 回転	[垂直] と [水平] のいずれかを OSD の向きとして選択します。
メニュー言語	OSD メニューの言語を変更します。
時計	時刻と日付を変更します。
ロゴ表示	電源オン時にパナソニックのロゴを表示させるかどうかを選択します。
リモコン操作	リモコンの操作を有効 / 無効にします。 注意: リモコン操作が無効の場合、[MENU]/ 左 / 右 / 上 / 下の順にリモコンのボタンを押して、リモコンの操作を有効にできます。 この時に [キーパッド操作] を [無効] にしていた場合には、[キーパッド操作] も [有効] になります。
キーパッド操作	本体のコントロールボタン操作を有効 / 無効にします。

■ スケジュールの設定方法



プログラム番号の選択

画面左上にプログラム番号 1 ～ 7 を示すボックス上にカーソルがある状態で、左（アイコン◀）／右（アイコン▶）ボタンを使用して目的のプログラム番号を選択します。スケジュール 1 ～スケジュール 7 より選択できます。

選択したプログラム番号を有効にするには、「設定を有効にする」のチェックボックスで [OK] ボタンを押してチェックを入れます。番号を無効にするには、「設定を有効にする」のチェックボックスのチェックを外します。

それぞれのプログラムのスケジューラー設定をする

スケジューラーでは以下の設定が可能です。

各項目は、上下左右ボタンを使って移動します。

各項目において [OK] ボタンを押してチェックボックスにチェックを入れ選択、または、チェックボックスのチェックを外し選択解除ができます。

電源オフ / オン時間の項目では、時間表示の箇所を選択し、[OK] ボタンを押すと、上下ボタンで時間設定ができます。時間設定を終了するには、戻る（↶）ボタンを押します。

インプットの項目は左右ボタンを押して、入力ソースを選択することができます。

スケジュール設定	
設定	設定詳細
スケジュール 1 ～ 7	最大 7 つのスケジュールを選択してプログラムできます。
毎日	この項目を選択すると、スケジュールを毎日実行します。
月曜～日曜	スケジュールを実行したい週の曜日を選択します。
電源オン	電源がオンになる時刻を設定します。
インプット	目的の音声映像入力ソースを選択します。
電源オフ	電源がオフ（スタンバイモード）になる時刻を設定します。電源オフのスケジュールを設定したくない場合は、本項目をチェックしないでください。
設定を有効にする	現在のスケジュールを有効 / 無効にします。
すべてのスケジュールをリセット	すべてのスケジュールを工場出荷設定（スケジュールなし）に戻ります。

スケジュールの確認

スケジュールを確認するには、リモコンまたは液晶ディスプレイの左側にある [MENU] ボタンを押して、OSD メニュー画面の [スケジューラー] メニューを表示します。

[スケジューラー] メニューを終了する前に電源をオフすると、スケジューラーの設定がキャンセルされることがあります。

お知らせ

- スケジュールを設定する前に、[時計] を使用して、現在の日付と時刻を必ず確認してください。
- スケジューラーの画面の終了時に、設定が保存されます。
- 2 つ以上のスケジュールが有効になっている場合、タイマー設定に合わせてこれらのスケジュールが実行されます。個別のスケジュール間で時間範囲が重なる場合は、後から開始されるスケジュールに変更して、最後に実行されたスケジュールが完了すると電源がオフになります。
- 2 つ以上のスケジュールの電源オン / オフ時間が同じ場合、一番若いプログラム番号の電源オン / オフ時間が実行されます。
- スケジュールが設定されると、オフタイマーが無効になります。
- 電源オン時間と電源オフ時間を同時刻に設定できません。
- 電源オフ時間は、電源オン時間が設定されていないと設定できません。
- 停電やその他の原因で主電源がオフまたはブレーカーがトリップ（遮断動作）しても、スケジュールのプログラムは保持され、主電源がオンに戻ると実行されます。ただし、主電源が 168 時間（7 日）以上オフの状態になると、システムの時刻が正確ではなくなります。

■ システム情報のメニュー画面

システム情報	
モデル名	TH-75BFE1
ソフトウェアバージョン	1.00.00
シリアル番号	-----

システム情報のメニュー画面	
モデル名	製品の品番を表示します。
ソフトウェアバージョン	ディスプレイの現在のソフトウェアのバージョンを表示します。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。

付録

■表 1: 対応フォーマット仕様 (映像)

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	最大フレームレート	最大ビットレート	MPEG1 Audio Layer3 (MP3)	AC3	AAC HE-AAC	WMA	L-PCM
.ts .trp .to .m2ts	MPEG2-TS	H.264	1 080P	30fps	20 Mbps	○	○	○		
.mp4	MP4	MPEG-4 AVC/H.264	1 080P	30fps	20 Mbps	○		○		
.mkv	MKV	H.264	1 080P	30fps	20 Mbps	○	○	○		○
		MPEG-4 AVC	1 080P	30fps	20 Mbps					
.avi	AVI	MPEG-4 AVC	1 080P	30fps	20 Mbps	○	○	○		○
		H.264	1 080P	30fps	20 Mbps					
.asf .wmv	ASF	H.264	1 080P	30fps	20 Mbps	○	○		○	○
		MPEG-4 AVC	1 080P	30fps	20 Mbps					
		VC1	1 080P	30fps	20 Mbps					
		WMV3	1 080P	30fps	20 Mbps					

*一部の動画は再生できない場合があります。特にMP4動画については、エンコーダによって再生できない場合があります。

■表 2: 対応フォーマット仕様 (音声)

ファイル拡張子	オーディオコーデック	ビットレート	サンプリングレート
.mp3	MPEG1 Audio Layer 3	32Kbps ~ 320Kbps	32kHz ~ 48kHz
N/A (動画ファイルのみに対応)	AC3	32Kbps ~ 640Kbps	32kHz, 44.1kHz, 48kHz
.m4a .AAC	AAC, HEAAC	24Kbps ~ 384Kbps	8kHz ~ 48kHz
.wma .asf	WMA	128Kbps ~ 320Kbps	8kHz ~ 48kHz
N/A (動画ファイルのみに対応)	LPCM	64Kbps ~ 1.5 Mbps	8kHz ~ 48kHz

■表 3: 対応フォーマット仕様 (写真)

ファイル拡張子	Codec (Format)	写真	解像度
.jpg	JPEG	ベースライン	15 360 x 8 640
		プログレッシブ	1 024 x 768
.png	PNG	ノンインターレース	9 600 x 6 400
		インターレース	1 200 x 800
.bmp	BMP	-	9 600 x 6 400

記載されているコンテナ、コーデックであっても再生できない場合があります。

■表 4: プリセット信号

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	入力		
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		PC	DVI-D	HDMI1 HDMI2
640 x 480 60Hz	640 x 480	31.47	59.94	25.18	○	○	○
640 x 480 75Hz	640 x 480	37.50	75.00	31.50	○	○	○
800 x 600 60Hz	800 x 600	37.88	60.32	40.00	○	○	○
800 x 600 72Hz	800 x 600	48.08	72.19	50.00	○	○	○
800 x 600 75Hz	800 x 600	46.88	75.00	49.50	○	○	○
1024 x 768 60Hz	1 024 x 768	48.36	60.00	65.00	○	○	○
1024 x 768 70Hz	1 024 x 768	56.48	70.07	75.00	○	○	○
1024 x 768 75Hz	1 024 x 768	60.02	75.03	78.75	○	○	○
1280 x 768 60Hz	1 280 x 768	47.40	59.99	68.25	○	○	○
1280 x 768 60Hz	1 280 x 768	47.78	59.87	79.50	○	○	○
1280 x 960 60Hz	1 280 x 960	60.00	60.00	108.00	○	○	○
1280 x 1024 60Hz	1 280 x 1 024	63.98	60.02	108.00	○	○	○
1360 x 768 60Hz	1 360 x 768	47.71	60.02	85.50	○	○	○
1600 x 1200 60Hz	1 600 x 1 200	75.00	60.00	162.00	○	○	○
1366 x 768 60Hz	1 366 x 768	47.71	59.70	85.50	○	○	○
1920 x 1080 60Hz	1 920 x 1 080	67.50	60.00	148.50	○		
1280 x 800 60Hz	1 280 x 800	49.70	59.81	83.50	○	○	○
640 x 480 60Hz	640 x 480	31.50	60.00	25.20		○	○
480p 60Hz	720 x 480	31.50	60.00	27.03		○	○
480p 60Hz	720 x 480	31.50	60.00	27.03		○	○
720p 60Hz	1 280 x 720	45.00	60.00	74.25		○	○
1080i 60Hz	1 920 x 540	33.75	60.00	74.25		○	○
480i 60Hz	720(1440) x 480i	15.75	60.00	27.03			○
1080p 60Hz	1 920 x 1 080	67.50	60.00	148.50		○	○
576p 50Hz	720 x 576	31.25	50.00	27.00		○	○
576p 50Hz	720 x 576	31.25	50.00	27.00		○	○
720p 50Hz	1 280 x 720	37.50	50.00	74.25		○	○
1080i 50Hz	1 920 x 540	28.13	50.00	74.25		○	○
576i 50Hz	720(1440) x 576i	15.63	50.00	27.00			○
1080p 24Hz	1 920 x 1 080	27.00	24.00	74.25		○	○
1080p 25Hz	1 920 x 1 080	28.13	25.00	74.25		○	○
1080p 30Hz	1 920 x 1 080	33.75	30.00	74.25			○
2160p 24Hz	3 840 x 2 160	54.00	24.00	297.00			○
2160p 25Hz	3 840 x 2 160	56.25	25.00	297.00			○
2160p 30Hz	3 840 x 2 160	67.50	30.00	297.00			○
2160p 50Hz	3 840 x 2 160	112.50	50.00	594.00			○
2160p 60Hz	3 840 x 2 160	135.00	60.00	594.00			○
4096 x 2160 24Hz	4 096 x 2 160	54.00	24.00	297.00			○
4096 x 2160 25Hz	4 096 x 2 160	56.25	25.00	297.00			○
4096 x 2160 30Hz	4 096 x 2 160	67.50	30.00	297.00			○
4096 x 2160 50Hz	4 096 x 2 160	112.50	50.00	594.00			○
4096 x 2160 60Hz	4 096 x 2 160	135.00	60.00	594.00			○

修理を依頼される前に・・・ もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
画面に光らない点がある	● 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。これは故障ではありません。	—
電源が入らない	● コンセントまたは本機から電源プラグやコネクタが外れていませんか。	17
電源が自動的に切れる	● [スリープタイマー]、[パワーマネージメント設定]または[無操作自動オフ]が[オン(有効)]に設定されていませんか。	24
電源ランプが赤色点滅する	● 故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
リモコンで操作できない	● 電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。	—
	● リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。	—
	● リモコン受信部とリモコン間に障害物はありませんか。設置状況に問題がない場合はリモコン受信部を本体の端面より引き出してご使用ください。	16
	● 本機専用のリモコンを使用していますか。(他のリモコンでは動作しません) ● [初期設定]メニューの[リモコン操作]を[無効]にしていませんか。	— 42
映像が出るまでに時間がかかる	● 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
画面にはん点が出る	● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けている可能性があります。	—
色が薄い	● 色の濃さの調整がずれていませんか。(映像の調整値をご確認ください。)	38
色模様が出たり 色が消える	● 他の映像機器から影響(妨害電波)を受けていませんか。 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
画面の上または下が 欠ける	● 映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。 画面位置の調整をしてください。	39
画面の上下に映像の 出ない部分ができる	● 16:9より横長の映像ソフト(シネマサイズのソフトなど)のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	—
映像の輪郭が チラチラする	● 液晶パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	—
本体のボタンで操作できない	● [キーボード操作]を[無効]に設定していませんか。	42
映像、音声が出ない ことがある	● HDMI信号やDVI信号をセレクトや分配器を通して本ディスプレイに入力した場合、使用する機器によっては映像と音声の出力が正常に行われない場合があります。 本機の電源を入れ直すまたは、セレクトや分配器の交換を行うと症状が改善する場合があります。	—
映像が出ないなど表示が おかしい、または急にリ モコンが操作できなくな った	● 本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。万一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、電源プラグをコンセントから抜き、約5秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。	23
シリアル制御ができない	● 接続は正しく行われていますか。	34

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

47 ページ「修理を依頼される前に…」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

本体

品番	TH-75BFE1J (75V型)* ¹
種類	タッチスクリーン液晶ディスプレイ
使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz
消費電力	370 W
	本体主電源スイッチ「切」時 約 0 W リモコンで電源「切」時 約 0.5 W
液晶ディスプレイ パネル	VA パネル (Direct LED バックライト)
	75V 型* ¹ (アスペクト比 16 : 9)
画面寸法	幅 1 650 mm 高さ 928 mm 対角 1 893 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)
動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 40 °C* ² 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)
保管条件	温度 : - 20 °C ~ 60 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)
HDMI 入力端子 HDMI 1 ・ HDMI 2	TYPE A コネクター* ³ × 2 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
デジタル RGB 入力端子 DVI-D IN	DVI-D 24 ピン × 1
パソコン入力端子 PC IN	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応) × 1
	R/G/B 0.7V[p-p](75 Ω) 同期信号を含まない HD/VD TTL
音声入力端子 AUDIO IN	ステレオミニジャック (M3) × 1 0.5 V [rms] DVI-D IN と PC IN 共用
音声出力端子 AUDIO OUT	ステレオミニジャック (M3) × 1 0.5 V [rms] 出力 : 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力、10 k Ω 負荷時)
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠
外部スピーカー端子 EXT SP	8 Ω、20 W [10 W+10 W] (10 % THD)
IR 入力端子 IR IN	ステレオミニジャック (M3) × 1
USB メモリー端子 USB	USB コネクター × 1、TYPE A DC 5V / 1A (USB 3.0 には対応していません)
外形寸法	幅 : 1 710 mm 高さ : 989 mm 奥行 : 102 mm 幅 : 1 710 mm 高さ : 1 072 mm 奥行 : 102 mm (横置き設置 / スピーカー取り付け時) 幅 : 989 mm 高さ : 1 793 mm 奥行 : 102 mm (縦置き設置 / スピーカー取り付け時)
質量	約 66.0 kg (スピーカー取り付け時約 68.0 kg)
キャビネット材質	前面 : 金属 バックカバー : 金属

リモコン

使用電源	DC 3 V (単 3 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)
操作距離	約 5 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 113 g (乾電池含む)
外形寸法	幅 : 160 mm 高さ : 50 mm 奥行 : 20 mm

スピーカー

インピーダンス	8 Ω
定格入力	20 W [10 W + 10 W]
外形寸法	幅 : 763 mm 高さ : 82 mm 奥行 : 59 mm
質量	約 2.0 kg
キャビネット材質	樹脂

※ 1 ディスプレイの V 型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 2 高地 (海拔 1400 m 以上 2800 m 未満) で使用する場合の使用環境温度は 0°C ~ 35°C になります。

※ 3 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac、Mac OS、OS X、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズのライセンスに基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内のみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

EU



注意

この製品はクラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を引き起こすことがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品番
	販売店名	☎ () -	お客様ご相談窓口 ☎ () -

パナソニック株式会社
コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© Panasonic Corporation 2017

DA0617TS2068 -PB

中国印刷